

○ 第1部 市政報告

【市からの状況説明】

1. 新型コロナウイルス対策
2. 全国屈指の森林観光都市に向けた取組み
3. プレミアム電子商品券
4. 秦野駅南部(今泉)土地区画整理事業
5. 通学路整備・市道改良・公園遊具改修など
  - ・市道平沢27号線寺井橋暫定拡幅工事
  - ・市道緑町5号線通学路安全対策工事
  - ・市道71号線歩道設置
  - ・市道14号線道路改良
  - ・カルチャーパーク陸上競技場改修工事

※詳細は別途資料参照

市長

○ 第2部 地域まちづくりについて

1 震生湖誕生100周年に向けての対応

【市からの状況説明】

- ・ 関東大震災で生じた堰止湖である震生湖が、現在も土砂崩落の痕跡や湖を一体的に確認できる地質学上で貴重な文化財であるという価値が認められ、令和3年3月26日に国登録記念物(動物、植物及び地質鉱物関係)に登録された。
- ・ 令和5年9月1日には関東大震災発生から100年という節目を迎えるに当たり、歴史的な震災遺構として、多くの方に知ってもらい、後世に伝えるため、令和4年3月には国の補助制度を活用し、文化財としての見地から、震生湖を解説する、100年後にも耐えうるような石製のしっかりした看板を設置した。
- ・ 震生湖誕生100周年の事業については、市の文化財と観光の主管課が事務局となり、中井町の文化財と観光の主管課にもオブザーバーとして参加いただき、地質の専門家等を交え、自治会など震生湖周辺で積極的に活動されている地域の方々と、内容について協議する懇話会を設置した。
- ・ 懇話会は令和4年5月20日に第1回を開催し、7月4日に第2回を開催した。
- ・ 市としても、関係課によりプロジェクトチームを立ち上げ、今後の事業について調整を進めている。
- ・ 令和4年度にはイベントとして、8月17日から9月15日までを会期とした震生湖の写真展を、はだの歴史博物館、南公民館、南が丘公民館の3か所で同時開催し、各会場で10枚ずつそれぞれ違う写真を展示した。その後、南公民館においては、30枚の全ての写真を展示した。また、この会期中の9月10日には専門家を講師とした現地見学会を開催した。
- ・ 9月28日から10月17日にイオンショッピングセンターでも写真展を開催し、「再発見、写真で見る秦野展」においても、震生湖の写真8枚を展示した。
- ・ 観光の主管課において震生湖100周年をPRするポスターを作成し、公共施設に掲示している。
- ・ 震生湖誕生100周年事業の実施内容については、地域の誇りである貴重な文化資源である震生湖を「100年に向けて」ということだけでなく、「さらに100年後も」伝えていくことができるような想いで、地域の皆様、庁内関係部署など、連携を深め、話し合いながら、検討していきたいと考えている。100周年記念事業については、記念式典、講演会、記念冊子の発行等を考えているが、今後も検討を進めていきたい。引き続き、地域の皆様の御協力をお願いしたい。

文化スポーツ部長



石製の看板

【質問・要望・意見等】 なし

2 南小学校通学路の安全対策強化について

【市からの状況説明】

- ・通学路の安全対策は、毎年度、各学校、保護者、地域の皆様の御協力により、安全点検を行い、危険箇所についての改善や要望は教育委員会へ提出いただいている。その後、現地確認が必要な箇所について、市、秦野警察署及び関係機関等が連携して、合同点検を行い、注意喚起や安全啓発のための看板設置やグリーンベルトの整備等に取り組んでいる。
- ・今年度、小中学校から提出された改善要望の件数は、94件、この内、南小学校区からは8件、南が丘小学校区からは7件である。
- ・改善の進捗状況について、市道緑町5号線の秦野植木センターの箇所は、以前から横断歩道の設置要望があり、グリーンベルトの設置工事と酸化鉄を原料とし耐久性のあるベンガラ塗装の代替案を検討して先月に完了した。
- ・市道71号線の歩道設置についても、関係部局・機関等と連携を図りながら安全対策に取り組む。
- ・ソフト面の取組として、今年度は、学識経験者や保護者、地域の代表者等を構成員とする通学路安全対策推進懇話会を設置した。様々な視点で、専門的な見地から、通学路に対する安全対策の助言等をたくさんいただき、安全対策全体の底上げにつなげる。懇話会には、秦野市自治会連合会の会長にもご参加いただき、感謝する。
- ・子どもたちの見守り体制の強化を図るため、2学期からは通学路の見守りボランティア登録制度を開始した。
- ・既にPTAや各自治会の皆様など、様々な団体において登下校時の児童生徒の見守り活動に御協力をいただき、感謝する。今回新たに開始したボランティア登録制度は、特定の団体に属していなくても子どもたちの見守り活動に御協力いただける地域の皆様を対象とする。散歩やゴミ出しの時間帯に登下校する子供たちへ気軽に声掛けなどをしていただき、子どもたちの安全を守り、地域交流の活性化へつなげる。
- ・通学路の見直しや交通安全教室等、ソフト面でも関係機関と協力する。
- ・交通安全対策として、交通安全協会や交通指導員、交通推進員、母の会、PTAや地元の有志の方々などの御協力をいただき、主要な交差点での交通安全指導や見守りの実施、青色回転灯を装備したパトロール車(通称:青パト)による巡回等を行なっている。
- ・学校や自治会からの通学路整備要望等による、「スピード落とせ」、「通学路注意」等の看板については迅速な対応を心掛け、ドライバーに対する注意喚起を行っている。
- ・令和3年度の南地区における注意看板の設置実績は、「スピード落とせ」、「とびだし注意」等の看板の新設が15箇所20枚、老朽化等に伴う交換が4箇所4枚である。
- ・今年度からドライバーに対する注意喚起だけでなく、歩行者に対する注意喚起を促す取組として、路面表示シールの設置を順次進めており、通学路には、キャラクターの注意喚起シールを設置している。ソフト面での安全対策は適宜実施しており、交通安全で気になる箇所等があれば、地域安全課へ御相談ください。

教育部長

くらし安心  
部長



路面標示のシール



3 秦野駅のにぎわい創造について

【市からの状況説明】

- ・ 市では、「小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト」として、地域商業の振興に加え、4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなど、活力あふれるにぎわいの創造に取り組んできた。しかしながら、郊外型大型店舗の進出や近年のインターネットショップの進展により、地域商業だけで、まちのにぎわいの担い手となるのが難しい。そのため、商店街の事業者に加え、街に関わる人、企業、関係団体等に、駅周辺のにぎわい創造に向けた議論に参加してもらい、地域の課題抽出や魅力の発見、課題解決に向けた取組の方向性について膝を交えて話し合える場として、駅ごとに「4駅にぎわい創造検討懇話会」を立ち上げ、進めている。
- ・ 特に県道705号を中心とする秦野駅北口周辺では、県より、拡幅整備が進む県道705号の開通が、令和8年度と示されたことから、最優先に取り組む地区として、学識経験者や商工会議所、JAはだの、地域住民、商業者、小田急電鉄、神奈川中央交通の代表者等により、「にぎわいのあるまちづくり協議会」を組織し、まちの将来像についての実現性を念頭に検討を進めている。
- ・ シンポジウムやワークショップ等を開催しながら、未来のまちに求めるイメージを共有し、その実現に向けた、未来ビジョンの策定を進めている。
- ・ その中で、低未利用資産の活用方法の検討や実際にまちの変化を促す取組を試験的に行うなどしながら、民間活力を生かし、街に滞在する人や交流人口を増やすための方策を検討する。
- ・ 御要望の秦野駅北口周辺、特に秦野駅駅舎では、15区画のうち5区画が空き店舗であり、駅中の活性化については、北口周辺のにぎわい創造という全体の取組の中でも重要な要素だと考え、小田急電鉄をはじめ民間事業者等との意見交換を行いながら、活性化に取り組む。
- ・ 9月に、秦野駅改札階のパン屋であった区画に「丹沢日和」というお店がオープンした。これは、小田急電鉄が地元の事業者に声をかけ、表丹沢をはじめ、本市の魅力を発信するアンテナショップとして実験的に来年3月末までの期間限定で営業しているものである。このような民間の取組がさらに増え、駅周辺地域が、まちの玄関口としてふさわしい活用を持続できるように、誰が何をするかといったことなどを懇話会で検討する。お店は、利用がなければ、営業が継続しないため、ぜひ皆さんにもお立ち寄りいただきたい。
- ・ 本年4月には、商業地に一定規模以上の施設を新設し、新たに立地する企業等への優遇措置を定めた「商業地における企業等の立地及び施設再整備の推進に関する条例」を制定した。このような優遇策を活用し、民間投資も誘導しながら、駅周辺のにぎわい創造へつなげる。

はだの魅力づくり担当部長



県道705号 秦野駅北口



県道705号 片町通り交差点

【質問・要望・意見等】 なし

○ 第2部 市政全般について

(質問)

・ 寺井橋の工事について、今後、どのように地域住民に周知するのか。また、グリーンベルトの設置基準等はあるのか。設置基準の内容を教えてください。

三協町自治会

(回答)

・ 寺井橋は、現況の2.6メートルの幅員を4.5メートルに拡幅し、工事完了は、令和5年3月を予定する。地域の皆様へは工事に入る前に周知したいので、事前に各自治会長さんと相談させてほしい。  
 ・ グリーンベルトは通学路への設置が基本であり、毎年、南小中学校及び南が丘小中学校から多くの要望をいただいている。  
 ・ 建設部、教育委員会、くらし安心部、秦野警察署、学校の先生と現地を調査し、具体的な対策を協議している。  
 ・ 千葉県八街市の事件をきっかけに、要望内容をできるか否かではなく、要望に対してどんな対応ができるかという観点で安全対策を実施している。その1つの事例が、秦野植木センターの交差点のグリーンベルトの取組である。

建設部長



秦野植木センター前  
交差点のグリーンベルト



寺井橋

(要望)

・ 早朝、信号機のない箇所(消防署南分署からユニクロへ向かう道路)で子どもたちを見守っているが、最近、車の通行が激しく、危険である。市からも信号機の設置について、警察へ強く要望していただきたい。

南が丘地区  
民生委員・  
児童委員協  
議会

(回答)

・ 子どもたちの通学路の安全対策に御協力をいただき感謝する。  
・ 御指摘の場所はよく分かり、消防署南分署から秦野赤十字病院へ向かう、手前の交差点となるが、過去に交通事故が発生している。



横断歩道  
設置要望箇所

市長

(回答)

・ 信号機の設置は、県公安委員会の所管である。公表されている基準は、数値的な基準を満たしたうえで、警察が総合的な判断をする。1つは、隣接する信号機から150メートル離れていること、2つ目は、設置する道路の交通量が1時間あたり往復車両交通量が300台以上、つまり、1分あたり5台以上であること、3つ目は道路の幅員が、自動車が安全に相互交通できる幅員が必要であると示されている。警察として、地域全体、県内の状況バランスを見て、総合的に判断すると聞いている。  
・ 市道14号線カルチャーパーク北側道路も信号機の設置を検討している道路である。  
・ 市政懇談会、学校、保護者等からの御意見は、適宜警察へ情報提供しており、今回、御指摘の場所も警察と今後協議をする。

くらし安心  
部長

<p>(提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南地区の自治会加入率が約6割と地域コミュニティが減少し、地域行事を行う上で課題である。</li> <li>・ 市からの広報もデジタル方式の導入が進み、回覧板で回すことが減少し、自治会加入のメリットがなく、加入しない人が多くなってきた。</li> <li>・ 新築アパートが建ち、アパート丸ごと自治会に加入しないこともある。</li> <li>・ 開発行為をする際には、南地区だけではなく市全体で、自治会への加入促進等をお願いしたい。</li> </ul>	<p>南地区民生 委員・児童 委員協議会</p>
<p>(回答)</p> <p>・市全体の自治会加入率は平均で約60%である。10年前から比較すると、概ね、1年につき1ポイントずつ下がっている。市も自治会連合会も危機感を持ち、令和2年度及び令和3年度に、自治会の活性化、加入率を向上させる取組を検討する組織を立ち上げ、検討してきた。その中の一つが、小田急電鉄が提供する電子回覧板「いちのいち」であり、現在、普及促進に取り組んでいるが、100%移行する考えはない。地域の中には、ICTに慣れた人やそうでない人もいるため、当面は併用と考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回覧板は、市民活動支援課より月2回自治会へ送っており、今後も継続する。</li> <li>・ ニーズにより「いちのいち」を御活用いただき、併用して御活用いただけるよう展開していく。</li> <li>・ そのほかの意見としては、役員の就任部分役員の負担があり、市への申請は、可能ならば、利用できるようスキームを作成する。</li> <li>・ 先行して加入率が高まっている地域では、地域行事のスリム化や、高齢を理由に役員を引き受けることが難しい場合には、違う形で協力できる手法を探る等の様々な提案を行っている。</li> <li>・ 開発の場合には、市民活動支援課より対象自治会へ情報提供し、場合によっては、市職員も一緒に協力しお願いをしているので、御相談いただきたい。</li> </ul>	<p>くらし安心 部長</p>
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前に大きなマンション建設の話を知っているが、自治会の加入に対する御指導、御協力をお願いしたい。</li> </ul>	<p>南地区民生 委員・児童 委員協議会</p>

<p>(要望)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きく2つの要望があり、1つは民生委員児童委員の選出と2つ目は自治会の負担軽減に伴う要望である。</li> <li>今年度は、民生委員児童委員の選出活動が自治会長に委託され、選出活動に取り組んできたが、自治会長も会員全員の詳細な個人情報把握していないため、適任者が分からず、大変苦労した。</li> <li>ボランティアは了承するが、引き受けてくれる人が見つからず、選出活動は、大変大きな負担であった。</li> <li>南が丘地区は、現役世代が多く、民生委員児童委員を兼務してもらうのも難しく、配偶者からも理解を得るのが大変難しかった。</li> <li>自治会で、リタイアした70才以上の高齢者の年齢情報が分からない中、個人情報把握する市へ選出活動を委譲したい。</li> <li>国や市の委員に対するサポート体制、財政支援、働き方改革に取り組んでいただきたい。</li> <li>2つ目は、自治会活動の負担軽減を検討していただきたい。</li> <li>各行事の負担が多く、もっと簡素化してほしい。本日の資料も紙ではなく、ファイル等のデジタル化を推進してほしい。</li> <li>回覧物、募金、寄付についても簡素化をしてほしい。</li> <li>南が丘自治会は、現役が多く、日曜日の行事をやめ、なるべく土曜日にしてほしい。</li> <li>現役世代にもっと配慮をしていただきたい。</li> </ul>	<p>南が丘8自治会ブロック長 (さくら自治会)</p>
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員児童委員の所管は福祉部(「地域共生推進課」)のため、後日回答する。</li> <li>「いちのいち」のようなICT化は積極的に進めてほしいとの意見の場合には、積極的に導入いただきたい。利用方法等が分からない場合には、希望する自治会の元へ市職員が出向き、説明会を開催する等、コーディネートしている。</li> <li>行事のスリム化をどのように進めたらいいのかお困りの場合には、まずは市へ御相談いただきたい。</li> <li>先進的に取り組み、加入率が高まっている自治会もあるため、各所管へ情報提供するとともにことが可能なものを選んでいただきたい。</li> <li>行事については、市全体で様々な部局が係わっている。日曜日に開催せざるを得ない場合もあるため、御要望、御意見として、御理解ください。</li> </ul>	<p>くらし安心部長</p>
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内260名の定員であるが、各地区で選出してもらい、大変重要な役割を担っている。</li> <li>地域の困りごとを非常に細かく救い上げていただき、重要な役割を担っていることは、地域の皆様に御理解されていると考えている。</li> <li>欠員の場合、他の地区の民生委員がこの地域をカバーしなければならない。空白の地域が発生することなく、100%お願いしたい。</li> <li>推薦委員の高橋自治会長にも御協力をいただきお願いする。</li> <li>地域コミュニティが弱体化しないよう、原点の1つと考えているので、南が丘自治会だけで抱え込まず、市もサポートする。</li> <li>地域で支え手をどうしていくか考えるきっかけにしていきたい。</li> <li>地域で支え合い、助け合うしくみをつくり、地域で安心して暮らし続ける地域共生社会をつくっていくためにも、お力をいただきたい。</li> </ul>	<p>市長</p>



<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市長の言われることは分かるが、民生委員児童委員の選出活動が大変であった。自治会では、会員の年齢が分からないので、個人情報を開示していただけると選出活動がしやすかったかなと思う。</li> </ul>	<p>南が丘8自治会ブロック長 (さくら自治会)</p>
<p>(市回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の取扱いは大変厳しい。市は、住民基本台帳、税情報等様々な個人情報を取り扱っているが、利用は、厳格な目的等規制がある。</li> <li>個人情報の開示ではなく、日頃の付き合いの中から誰だか分かる関係が生まれてくると考える。</li> <li>例えば、先日のたばこ祭を開催したが、2日間で27万7千人が訪れたが、このような中でもふれあいが様々な場面で生まれている。このようなことから、地域のつながり、絆を深めることができると考えている。</li> <li>日々の地域活動の中から、お互いを知り、把握できるよう、市もサポートする。</li> <li>お忙しい状況は理解できるが、少しずつ、皆様にも力を出し合っていていただき、その結果、地域のコミュニティが成り立つと考えるので、御協力をお願いしたい。</li> </ul>	<p>市長</p>
<p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秦野市子ども会育成連絡協議会は西地区及び北地区が抜け、現在、6地区で構成されているが、実際に活動しているのは、このうち、東、南、本町、大根・鶴巻の4地区のみである。</li> <li>自治回数も相当あり、昔は、自治会に1つずつ子ども会があり、コミュニティの問題も、親子、おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで子どもを見守る体制が自治会活動にあった。このような機能が失われつつあることを懸念する。</li> <li>子ども会の時代ではないと言う人もいるが、秦野市に住む子どもがみんな楽しかった、市外に出てもまた戻ってきて、子ども会の活動を支援できる大人になってくれることを希望している。</li> <li>自治会ごとに子ども会をつくっていただき、加入することで、秦野市子ども会育成連絡協議会に加入となり、県、全国子ども会連合会につながり、その活動の中で、共済も活用できる。</li> <li>各自治会では、子どもを楽しませる行事を行っているが、もう少し広く、全国につながる子ども会をつくっていただきたい。</li> </ul>	<p>南子ども連絡協議会</p>
<p>(回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の加入率から始まり、全般的に地域コミュニティが10年、20年前と比べると弱まっている。</li> <li>婦人会・老人会クラブも同様で、かつては、自治会の中に子ども会等が全部組織されていた。価値観の多様化により、かつての形はなくなってきている。</li> <li>しかし、各地域において、子ども会等のそれぞれの組織は必要なため、一緒に悩みながら、地域コミュニティが弱体化しないよう、むしろ強化できるよう、御協力をお願いします。</li> </ul>	<p>市長</p>

(意見)

- ・ 今、南が丘8自治会をまとめた子ども会元気っ子クラブは、かつて、20年以上前に、南公民館を中心に、保護者でもないおじいちゃん、おばあちゃんが活動をしていたものを引き継ぎ、活動を続けている。南が丘を中心に、ロコミで広がり、周辺の自治会からも参加したいと集まっている。保護者が会長や副会長等の役員をせず、企画も、私たちが行い、子どもたちへ参加を呼びかけると、大勢集まる。
- ・ 現在、会員数62名おり、9月に久しぶりに活動をしたところ、約56名が参加した。子どもは何か活動をしたがっているのもので、その基盤となるものをつくっていただけるとありがたい。

南子ども連  
絡協議会